子ども部の方針・目標（平成23年度）

１． 部の方針

『応援します！すこやかな子育ち･楽しい子育て』
◆地域･行政が一体となった子育て支援を推進するため、子育てに関わる人材の育成と活用を図るとともに、子育て環境を整備する。
◆子どもを安心して産み、健やかに育てることができる環境づくりを進めるため、妊娠期からの母子保健サービス及び感染症予防対策を充実･強化する。
◆成長発達に特別な支援を必要とする子どもの早期発見と乳幼児期から総合的に対応できる療育や発達支援体制の充実を図る。

２． 部の重点目標

23年度に取り組む重点目標	左記の具体的な内容
子どもの健全育成	地域との協働による子どもの居場所づくりを充実･拡大するとともに、保育所･幼稚園･小学校の相互理解を推進し、連携･接続の強化を図る。家庭･地域教育力の向上を図り、学校･家庭･地域の連携を推進する。子どもに関する基本的事項を定めるための条例を制定する。
母子の健康支援と要保護児童対策の充実	妊娠期･出産期･育児期に対する健康支援策として、妊婦と胎児の健康管理のための妊婦健康診査及び乳幼児の健全な発育と疾患を早期発見するための乳幼児健診を行うとともに、育児の孤立化を防ぐための育児支援の充実を図る。また、子どもの疾患を予防するため、公費による予防接種を実施する。 要保護児童対策を充実させるために、関係する機関の連携を深めるとともに、市民へ虐待防止の啓発を進める。
発達支援体制の充実	発達相談員の増員を行い、中学生までの総合相談窓口の充実を図る。また、支援を必要とする子どもの早期発見体制の拡充を行う。

３． 部の経営資源

職員数	部長1人　子ども育成課11人　子ども家庭課17人　発達支援センター4人 子ども部職員計33人（うち常勤･非常勤嘱託職員･再任用職員9人） 職員比率（正規職員）　5.7%（子ども部24人／市職員420人）
予算規模 （平成23年度）	・一般会計　4,733,347千円

【子ども部】

４．各施策の推進方針

施策名	子育て支援
将来像	安心して子を生み、元気な子が育つまち
推進方針	・子育て支援センターの拡充を図るとともに、子育てサロンや子育てサークル等と連携した地域に根ざした子育て支援事業の充実を図る。また、保育所、幼稚園が行う障害児保育への補助事業を拡大する。保・幼・小連絡会の拡大を図るとともに幼児教育審議会や幼児教育研究協議会、保・幼連絡会を充実する。「（仮称）子どもの基本条例」を制定する。 ・子育て家庭への経済的な支援を充実させるため、子ども手当の給付などを行う。 ・妊産婦・乳幼児の健康づくりとして、妊婦健康診査及び乳幼児健診を継続して行うとともに、母親などへの妊娠・出産に対する心構えや個別訪問による家族の健康教育・相談などを行う。 ・児童虐待防止対策の充実を図るため、要保護児童対策地域協議会において、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応の取り組みを強化するとともに、地域ぐるみの子育て支援策として、民生委員児童委員と連携して乳児家庭の全戸訪問を行う。 ・発達相談員の増員を行い、中学生までの総合相談窓口の充実を図る。また、支援を必要とする子どもの早期発見体制の拡充を図る。

指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額
	安心して子育てができると感じる市民の割合（%）	48.3	49.6	50.8	52.0		子育て支援センター運営費(10-1-7)	25,686千円
							保育所保育実施事業費(3-2-2)	1,397,271千円
	子どもが元気に育っていると感じる市民の割合（%）	91.6	92.7	93.9	95.0		母子保健事業費(4-1-3)	97,713千円
							子ども手当給付費(3-2-2)	1,900,115千円
							発達障害支援事業費(3-1-2)	2,245千円

施策名	青少年の健全育成
将来像	心身ともに健全な青少年が育つまち
推進方針	・家庭教育力及び地域教育力の向上を図るため、コミュニティや幼稚園、小中学校PTAによる家庭教育学級を充実・拡大する。 ・宗像市子どもの居場所づくり基本方針に基づき、「人づくり」「情報の発信」「コミュニティとの協働」を柱とした各種事業を推進する。 ・学童保育については、事業が適正に運営されるよう指定管理者との協議・連携を図る。併せて、保護者会・指定管理者・地域協力団体が連携した事業運営が実施されるよう、指定管理者と関係団体との情報交換会の充実を図る。

指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額
	刑法犯少年非行件数（件）	81	79	77	75		学童保育所管理運営費(10-1-7)	118,588千円
	将来の夢、目標を持っている中学生の割合（%）	74.0	75.0	76.0	77.0		子どもの居場所づくり事業費(10-1-7)	5,234千円

施策名	健康づくりの推進
将来像	市民が自ら健康づくりに取り組み元気に生活しています
推進方針	・感染症予防対策として、定期の予防接種に加え、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンほか、公費による任意の予防接種を実施する。 ・新型インフルエンザなど感染症の予防と拡大防止のため、関係機関の連携と市民に対する感染症及び予防接種の情報提供を行う。

指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額
	日ごろから健康づくりに取り組んでいる市民の割合（%）	70.0	71.2	72.3	73.5		予防接種事業費(4-1-2)	236,761千円
	元気と感じている市民の割合（%）	65.1	66.8	68.4	70.0			
	生活習慣病で死亡した人の割合（%）	12.3	12.3	12.2	12.2			